

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

平成31年度

後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000 字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。
また字数は改行による空白を含めて計算する。

ヴェネツィア、バルセロナ、京都などでは、観光客の増加によって引き起こされる様々な事象を問題視する動きがある。たとえばバルセロナでは、民泊利用の増加によって市中心部の家賃が高騰し、地域住民が立ち退きを余儀なくされている。また、鎌倉では観光客の増加で、地域住民が日常的な交通手段である電車に乗る際に不便が生じている。

このような状況は、一部では「オーバーツーリズム」や「観光公害」と呼ばれ、近年では観光振興にともなう課題として認識されつつある。こうした問題が生じる要因や背景として、観光客数の増加以外にどのようなものがあるか、あなたの考えを述べなさい。